

消費税増税法案、子ども・子育て新システム関連法案の閣議決定に抗議する！

### 保育料引き上げ 児童クラブ有料化

## 子育て支援にならない！ 父母の願いに反し決定

3/27の市議会予算特別委員会で保育料引き上げ・児童クラブ有料化の予算案と、父母会や学童クラブ指導員等が出した反対の陳情の採決があり、共産党・市政改革クラブ・みんなの党は陳情に賛成、予算に反対しましたが、他の会派は陳情不採択・予算案に賛成し、引き上げ案・有料化案が可決されました。

3/23と3/27の予算特別委員会前には市役所前で保育連・保育労組・道生連・新婦人などが反対の宣伝行動を行いました。陳情趣旨説明では建交労学童支部・保育連・新婦人・道生連の代表が保育料引き上げ反対、有料化の見直しを求めて訴えました。3/28の本会議で正式に決まったものの、父母への負担増だけでなく、子育てに対する市の今後の対応が問われるでしょう。



3/23の市役所前宣伝(上)と陳情(下)

○は賛成 ×は反対	自民	民主	公明	共産	市民 ネ	改革	みんな
児童クラブ有料化 見直し陳情	×	×	×	○	×	○	○
保育料引き上げ反対陳情	×	×	×	○	×	○	○

## 「孤立死」問題で経産省・厚労省に改善要請



白石区社保協事務局長 今 英紀

3/23(金) 経済産業省と厚生労働省で中央社保協と全国生活と健康を守る会による「孤立死なくせ共同行動」が行われました。北海道の道生連細川副会長と私を含め全国から30人が参加しました。

経済産業省では、電気・ガス会社が供給停止世帯を訪問し、生活困窮者の情報を福祉部局に提供すること、滞納世帯数や供給停止世帯数を公表、電気・ガス会社の供給約款にこの間の連携強化の「通知」を入れ系統的に対策などを申し入れました。

経済産業省は「滞納世帯数の公表は生活困窮でない方も含まれ趣旨に沿わない」などと答弁。参加者から「滞納世帯数や供給停止世帯数は生活困窮前のサインだ。実態をつかむ上でも必要」(立川)「北ガスは催促状を送って50日後に自動的に停止している。訪問して実態をつかみ対応するように」(北海道)とライフライン停止は命にかかわる問題として強く要望しました。

厚生労働省では、社会的孤立対策の公的な機関を作ること、電気・ガス滞納世帯に生活保護など暮らしを守るチラシを作成し届けること、生活保護申請書を渡して申請意思を確認すること、所持金がなく電気・ガス供給停止世帯には職権による保護を行うことなどを申し入れました。

厚労省が「申請権を侵害してはいけない。相談時に生活保護について懇切丁寧に説明して制度の理解を行っている」「職権保護における窮迫な状態は、申請の意思を表明できない困窮している状態」「この間の事例は検証結果の報告を求めている」と答弁。参加者から「白石区の実例は、3回も生活保護相談をし、ライフラインも止められ、国保も未加入で加入の援助もしていない。この状態でも就職活動を指示し申請する意思を表明できなかった。この姉妹は生活保護で殺されたと思っている」と主張しました。保護指導課は、「ライフラインも止められ申請意思なしとしていることが事実なら不適切な事例と言われても仕方ない」と表明。私たちは特別監査を実施するように迫り、検討すると答弁しました。